



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成21年度
南砺市医療局

地域医療再生を目指したネットワーク創りにむけて

平成21年10月2日(金)から12月4日(金)にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市福野庁舎2階講堂で開催され、南砺市女性議会や南砺市連合婦人会らの地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員ら計53名が受講されました。

この講座は、医療局が富山大学の協力を得て一昨年から平成21年7月までに合計7回開いた「南砺市在宅医療推進セミナー」を発展させたもので、富山大学附属病院の山城清二先生と富山大学地域連携推進機構の小林俊哉先生がコーディネーターとなり、医療関係者だけではなく、地域住民と共に医療の課題を学び、医療の現状に詳しい住民「マイスター」を育て、地域全体で医療を守り育てるネットワーク創りを目指すものです。



コーディネーター

富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二先生

富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉先生

地域再生の成功事例と四画面思考を学ぶ

第1回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より地域再生の取り組み事例として「のびのび能美!ヘルスコミュニティの創造を目指して」と題し、地域再生の成功例から医療再生のための方法論について述べられました。

地域で取り組むべき健康教育は子供が各世代と家庭内交流を深めていくにつれて、最後には地域全体が健康長寿になることや、人間力と技術力の革新などについて説明されました。



芳珠記念病院 仲井 培雄先生

第2回では、「自分ごとで動く～成功の宣言～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分のありたい姿を想像し、未来の自分を描く四画面思考について説明され、自分ごとで動く事の重要性と知恵と活力を連携させ改革へつなげなければならないと述べられました。

講義の後半では、四画面思考を使ってグループごとに理想や夢を宣言しあい、目指すべき目標を共有しました。



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司先生

第3回では、北陸先端科学技術大学院大学の山崎竜二先生より、「子どもと考える老いの豊かさ」と題し、地域再生の事例として世代間の交流による相乗効果と、地域活性化への結びつきについて説明されました。

子供たちが積極的に高齢者と触れ合うことで、高齢者は子供たちから生きる活力を与えられ、子供たちは高齢者から昔の知恵や文化を学び、心の育成や認知症の理解に繋がると述べられました。



北陸先端科学技術大学院大学 山崎 竜二先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	10月2日(金) 18:30~21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉
		【各論1】 ○地域再生の取り組み例1 のびのび能美!ヘルスコミュニティの創造を目指して	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄
第2回	10月16日(金) 18:30~21:00	【各論2】 ○自己開発法 自分ごとで動く～成功の宣言文～	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司
第3回	10月30日(金) 18:30~21:00	【各論3】 ○地域再生の取り組み例2 子どもと考える老いの豊かさ ～世代間の地域的知識創造～	北陸先端科学技術大学院大学 博士後期課程 山崎 竜二
第4回	11月13日(金) 18:30~21:00	【各論4】 ○グループ別ディスカッション ○四画面発表(グループ代表)	富山大学附属病院 山城 清二 富山大学 小林 俊哉
第5回	12月4日(金) 18:30~21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	富山大学附属病院 山城 清二 富山大学 小林 俊哉

グループワーク ～これからの取り組みについて話し合おう～



グループワークの様子

第4回では、グループに分かれて地域医療の再生にむけた取組みについて話し合い、これから実践したい事を「成功の宣言」として掲げ、代表者による発表を行いました。(受講者の成功の宣言は下記のとおりです)

成功の宣言	
高齢者にやさしい地域	
一歩踏み出す勇気をもとう	
赤ちゃんと高齢者まで安心して暮らせる医療体制	
母を受け入れる為の自分改造計画	
在宅介護の負担軽減	
メンタルヘルスケアコミュニティーの構築	
楽しいデイサービス(特徴あるデイになってほしい)	
市内3病院の役割発揮と、開業医との連携により、疲たきりになっても適切な医療がうけられる地域	
いのち燦々!「さんさんひろば」の誕生	
里帰り出産の可能な医療体制作り	
心地良い(福野)地域にする	
あたたかい高齢者医療を地域で	
総合医療の地域「教育空間」作り	
ようこそ小林医院へ。私が院長の小林直子です。	
医療/介護職が定着・集まる南砺へ!	
医療保健福祉の連携で地域住民が豊かにくらせる	
終末期の生き方と死に方を自らで選択できる地域づくり	
「南砺市内は大きなホスピタル」の完成	
豊かな生活と健康維持を目指した退院支援	
その人らしい「生」を支える地域の病院	
高齢者の在宅医療を支える訪問看護として市民からコンセンサスを得る。	
住みながら自分らしく生活を続けよう。リハビリでサポートできる事	
自分の健康は自分で作る～医療への関心を持つ～	
メタボリックシンドロームから脱出して、生活習慣病を予防する	
ヘルスポランディアが増えて、市民の健康度が高くなる	
安心子育てアドバイザーの室庫	
安心して最後まで自宅でくらす	
地元根付いた南砺市民病院になるために…!	
老人でも楽しく過ごせる社会を作ろう	
誰でもどこでもハビリができる地域へ	
若いも若きもハッピーライフの郷づくり	
笑顔がたえない大家族づくり	
自分から「お願いします」と言える町づくり	
認知症を考えた共に生活していく	
在宅介護を支える地域作り	
連携の苦手意識を克服する	
在宅介護の負担軽減策「住んでよかった南砺市」	
ソーシャルベンチャーで雇用創出	
住民と行政の結実の力で実現しよう自分たちの思いを	
日本一住みやすい地域「五箇山」	
認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくり	
介護が必要になっても、自分で最後まで暮らせる南砺市	

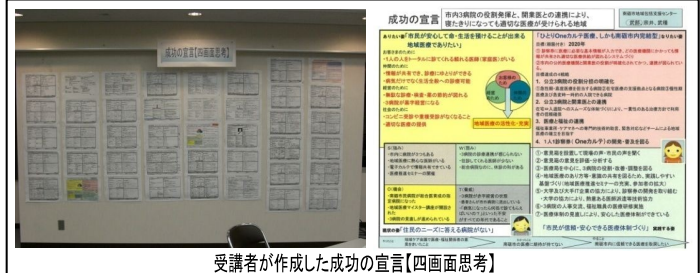


現状と課題を話し合っています



これからの取り組みを発表

『地域医療を守り育てる会』発足へ



受講者が作成した成功の宣言(四画面思考)

最終回の第5回では、受講者全員が地域医療の理想や現状、実践したい事を第2回の講義で学んだ四画面思考を元に発表され、最後に副市長より養成講座を3回以上受講した方44名へ修了証書が授与されました。

受講者の発表では、在宅介護が抱える厳しい現状をあげ、家族だけでなく地域ぐるみで支え合うシステムが必要であることや、終末期医療の充実や医師不足などについて、自らの課題や市全体の取り組みについて意見発表されました。

さらに、富山大学附属病院の山城先生を中心に受講者ら全員で「地域医療を守り育てる会」を発足し、今回の講義で培ったネットワークを生かして、住民の視点で地域医療の課題解決の方策を継続的に探っていくこととなりました。

この講座をきっかけに、地域医療の再生にむけた住民参加の輪が広がり、自分たちの医療を守り育てるまちとして進展していく事が望まれます。



地域医療を守り育てる会発足にむけて説明する山城先生



副市長が該当者全員へ修了証書を手渡されました



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成22年度
南砺市医療局

マイスター養成講座 第2期開講

平成22年9月17日(金)から11月12日(金)にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市福野庁舎2階講堂で開催されました。昨年引き続き第2期目となる今年は、南砺市連合婦人会からの地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員ら計48名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院の山城清二先生と富山大学地域連携推進機構の小林俊哉先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を「自分ごと」としてとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二先生



富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月17日(金) 18:30~21:00	○地域医療の課題 ○地域再生システム論	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
		○自己開発法 自分ごとで動く～成功の宣言文～	石川県能美市 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月1日(金) 18:30~21:00	○地域再生の取り組み例1 地域で生き地域で逝く人々を支える医療	福井県おおい町 名田庄診療所 所長 中村 伸一 先生
第3回	10月15日(金) 18:30~21:00	○地域活性化政策の全国的取り組み 官民連携による地域再生	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授(内閣府大臣官房審議官) 館 逸志 先生
第4回	10月29日(金) 18:30~21:00	○地域再生の取り組み例3 のびのび能美!ヘルスケアコミュニティの創造を目指して	石川県能美市 芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
		○地域再生の取り組み例2 子ども達の心の健康を地域と一緒に守る ～モバイルリハビリの試み～	富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第5回	11月12日(金) 18:30~21:00	報告会・まとめ ○成果発表 ○修了証授与	

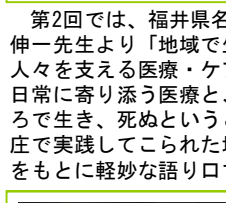
地域再生の取り組み例と四面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司先生

第1回では「自分ごとで動く～成功の宣言文～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいた姿への自分を描く「四面思考」の作成について述べられました。



福井県名田庄診療所 中村伸一先生

第2回では、福井県名田庄診療所の中村伸一先生より「地域で生き、地域で逝く人々を支える医療・ケア」と題し、住民の日常に寄り添う医療と、今住んでいるところで生き、死ぬということについて、名田庄で実践してこられた地域医療の取り組みをもとに軽妙な語り口で説明されました。



福井県名田庄診療所 中村伸一先生



北陸先端科学技術大学院大学 館逸志先生

第3回では、北陸先端科学技術大学院大学(内閣府大臣官房審議官)の館逸志先生より「官民連携による地域再生」と題し、全国の地域活性化の取り組みについて説明され、住民が地域の課題を発見し、相談できる仲間とともに考え行動することが重要と述べられました。



芳珠記念病院 仲井 培雄 先生

第4回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美!ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいた姿や具体的な実践手法について説明されました。

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



グループワークでは多職種の方が意見を交換

福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたいた姿や実践したい事を四面思考『成功の宣言』として掲げました。



和やかな雰囲気のもと前向きな意見が飛び交いました



受講者が作成した四面思考『成功の宣言』です

成功の宣言

将来 子供達が住みたいと思う地域にしたい
 砺波医療圏の在宅を支えるネットワークを作る
 訪問看護を通じて地域の皆様の健康や介護予防にも役立つ
 在宅において必要な方に適切なリハビリテーションを提供する
 みんなで子どもの健康を考え、支えあえる家庭(地域)
 『笑う門には福来る』
 身近で自分が出来る事から見つけたい
 在宅支援活動を行う
 すべての南砺市民が安心して医療、介護が受けられる社会にする!
 医療センターの利用者の増加
 他の地域に自慢できるようなリハビリネットワークを作り出す
 在宅での心リハ体制の確立
 高齢になっても認知症になっても地域で暮らせる
 笑いで免疫アップ! 医療費が減った南砺市
 地域社会と連携し健康な生活を作る
 介助者が負担にならない介護を思いやる支援に繋がる
 地域の方で人生に寄り添う医療を
 私の老後・病と仲良く付き合いたい
 食べながらお話を待てる地域
 健康づくりに関心が深まる地域づくり
 介護が必要になっても笑顔で暮らせる地域作り
 みんなで介護予防
 「健康教室」を継続し、共に学んで、健康寿命を延ばそう
 死ぬまで自分の家で過ごす。
 南砺市の床ずれ撲滅作戦、「無駄な手間、医療費削減」
 地域に密着した頼りにされる診療所
 ほっと あつと 健やかに
 医療福祉職の魅力を伝える伝道師になる!
 最期の死に方・生き方を自分で選べる地域(五箇山)へ
 笑顔を持って地域住民と共に生きる
 在宅療養者とその家族の皆さんが不安なく過ごせる社会
 地域住民が安心して利用できるリハビリをつくる
 その人らしい生き方を尊重し、人と人が出会うつながりが大げんか(自費のない)地域にする
 あふれる笑顔、しあわせなくらし
 ここで「住み続けたい」という想いが実現できるまちづくり
 将来、終末を自宅で迎えるために
 元気な地域づくり
 「よいとこ」発掘で愛される公立南砺中央病院に!
 なんと地域に、無理をしない介護を発信する
 言葉「南砺の実践を守り、地域と共に生きる」
 「お元氣さま!みんなであつと元気な南砺市!」
 南砺市民の安心・安全の支えとなる

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域再生にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



ユーモアあふれる発表が続き、会場は笑顔につつまれました

最終回の第5回では、受講者全員が第1回以降の講義で学んだ『四面思考』をもとに、在宅支援に関するネットワークづくりや、老後も安心して住み慣れた家で暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に田中市長より養成講座を3回以上受講した43名へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第2期生は、昨年の第1期生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が望まれます。



田中市長によるあいさつのもと、該当者のみなさんへ修了証書が授与されました。



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成23年度
南砺市医療局

マイスター養成講座 第3期開講

平成23年9月16日（金）から11月11日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市役所福野庁舎2階講堂で開催されました。第3期目となる今回は、南砺市連合婦人会らの地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計42名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院の山城清二先生と富山大学地域連携推進機構の小林俊哉先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を“自分ごと”としてとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生



富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月16日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	9月30日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域再生の取り組み例1 石川県能美市の取り組み	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	10月14日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域再生の取り組み例2 福井県高浜町の地域医療再生の取り組み	高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生
第4回	10月28日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域再生の取り組み例3 ○地域再生の取り組み例4	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第5回	11月11日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域再生の取り組み例と四画面思考を学ぶ

第1回では「自分ごとで働く～成功の宣言文～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいた姿への自分を描く「四画面思考」の作成について述べられました。



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美！ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいた姿や具体的な実践手法について説明されました。



芳珠記念病院 仲井 培雄 先生



高浜町和田診療所 井階友貴先生

第3回では、福井県高浜町和田診療所の井階友貴先生より「守り育てる地域医療の実際～福井県高浜町の場合～」と題し、高浜町で行っている大学との連携、そして、地域住民らによる地域医療サポーターと連携した取り組みについて説明されました。

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



最初は緊張した面持ちだった受講生でしたが



徐々に熱が入り活発に意見交換をされていました



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたいた姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言

【つながり=絆】の不思議と喜びを広めたい
未来の地域医療のメッカにしよう
自分の家で暮らし続けることができる
お祭り/のあり方について、ケアマネジャーと高齢者/スタッフの間で意見統一ができる
みんなが笑顔で過ごせる施設づくり
一人一人が住みやすい地域の協力者
少しでも永く家で暮らせるような地域づくり
南砺市が家庭医療のメッカとなる
透析患者様が安心して治療を受けられる職場環境作り
訪問リハ新聞の成功！
日本一元気な高齢者の多い地域、五箇山に
ず～っと笑顔で暮らせる地域を育てよう！
地域が(お年寄りが)気楽に話せる場所作り
住民が安心して暮らせる地域作り
笑って死ぬ地域作り ～終末期医療の自己選択と自己決定～
口の健康から身体の健康へ。介護予防
活力と笑顔があふれるまちづくり
産・学・官の力を結集し、5大疾病の予防効果を高めるシステムを創る
健康で楽しく過ごす
高齢者が心豊かに暮らせる「まち」創り
臨床工学士が支えるちとつ先(未来)の安心地域医療
「住み慣れた地域で高齢者も笑顔で暮らして生活できる南砺市作り」
まいにちにここにこあさん
語り合えて、支えあう「だんない茶」の会
「医療」の地産地消
外国人も安心して、医療・検診が受けられるようにする。
遠くに行かない高齢者が身近な場所で気軽に集える場所作り
「最期まで口から美味しく摂取出来る支援体制作り」
「高齢者とその家族と医療・福祉職の方がいきいき暮らせる地域にしたい」
子育て応援者を増やし、すべての子どもに明るい未来を！
プロフェッショナル 介護福祉士
人と人のつながりを大切にし、地域に貢献できる自分
知的障害者との共有
一人でもがらばらない在宅介護を支援する
市民が安心して入院できる病院 ～認知症予防に関わる～
安心して在宅生活が送れるよう支援できる事業所
ろうあ者が安心して暮らせる南砺市

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域再生にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



他の受講生の成功の宣言に耳を傾け

最終回の第5回では、受講者全員が第1回以降の講義で学んだ『四画面思考』をもとに、在宅支援に関するネットワークづくりや、老後も安心して住み慣れた家で暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に中山医療局管理者より養成講座を3回以上受講した38名へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第3期生は、第1期・第2期生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。



中山医療局管理者から、該当者のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。





南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成24年度
南 砺 市
地域包括医療・ケア局

マイスター養成講座 第4期開講

平成24年9月28日（金）から11月30日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市役所 福野庁舎2階講堂で開催されました。第4期目となる今回は、南砺市連合婦人会らの地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計44名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を“自分ごと”してとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
教授 山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月28日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月12日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域再生の取り組み例1 石川県能美市の取り組み	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	10月26日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域再生の取り組み例2	九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター 准教授 小林 俊哉 先生
第4回	11月9日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域再生の取り組み例3	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生
第5回	11月30日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域再生の取り組み例と四画面思考を学ぶ

第1回では「4画面思考で未来を創る～自己開発法：喜びの創造と連鎖～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいたい姿への自分を描く「四画面思考」の作成について述べられました。



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美！ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいたい姿や具体的な実践手法について説明されました。



芳珠記念病院 仲井 培雄 先生



九州大学 小林 俊哉 先生

第3回では、昨年まで山城先生と共に本講座のコーディネートをいただいていた、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センターの小林俊哉先生から北陸先端科学技術大学院大学での地域活性化の取り組みを紹介され、また、四画面思考法の作成方法について改めて説明をいただきました。



富山大学附属病院 山城 清二 先生

第4回では、本講座のコーディネーターでもある、山城先生から「未来の地域包括ケアシステム」と題し、地域包括医療ケアにおける地域と大学との協働について、これまでの南砺市での取り組みについて事例を交えての説明や今後目標について講義をいただきました。

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



最初は不安と「やらされ感」が大きかった受講生の皆さんも



グループワークを通じ、職種を超えて意見交換をされていました



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたいたい姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言

100年後の子供たちが笑顔で夢が語れるように立野原観光農園は変わります。
地域で仲間作り 楽しい老後 地元のイベント盛り上げ隊
ポジティブに生き、地域に感謝を伝授
ディズニーランドのような病院にしよう
薬のことなら南砺中央病院薬剤科に任せて！
高齢者の生活を支える仕組みづくり
心とお腹の癒し健康スポット
イキイキ なんと赤十字奉仕団
健康づくりで認知症を防ぐ作戦
ほっと スマイルケア なんと
未来の「地域医療看護」を市民病院から発信したい！
広く知ってもらおう臨床検査技師
互いを思いやる地域づくり 介護保険推進全国サミットの開催を通して
それいけ！社協マン 南砺市に合った社協を目指す
高齢者が幸せに過ごす場、安らかに死を迎える場の充実と人的確保
利用者様に満足してもらえ、自立支援が出来る介護士になりたい
地域のボランティアと協力して子育てを支援する！
デイケアの効果を利用者・地域のひとに知ってもらおう
在宅において生涯から食べるための支援をする
ユニバーサルデザインなんと
認知症について知り、私もあなたも脱認知症
家族が自宅で自立した生活を継続することを目指して
介護職員個々の専門性を高め、「介護職」を知ってもらおう
家庭医・総合医が南砺の住民に貢献する
巡回診療復活の日
南砺市で一番の歯科にする！
指名される病院職員へ！
健康長生き先進地 南砺市
認知症と楽しく付き合おう！
高齢になってもお互いに声かけ支えられる地域づくり
研修医が地域医療を学び医師として成長出来る、風土・環境を考える
ショートステイが充実し在宅療養者と介護家族が元気になる
作業療法をすることで作業療法士自身も元気になるような職場・社会にする
病院でないと出来ないケア
心と体の健康でハッピーライフを！
みんな大好き！自分の住むまち
地域に必要なとされる歯科口腔外科をつくる
魅力のと学生が感じられる訪問看護師になる
運動機会の提供を通じ、職場環境へのPTの関わりを
隣のウチを知り、支え合うことが出来るムラへ
南砺市：医療崩壊先進地域の再生モデル

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域再生にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



他の受講生の成功の宣言に熱心に耳を傾ける受講生

最終回の第5回では、受講者全員が第1回以降の講義で学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの職場や業務の魅力向上や、老後も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に中山地域包括医療・ケア局管理者より養成講座を3回以上受講し、成功の宣言を発表された41名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第4期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。



中山地域包括医療・ケア局管理者から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成25年度
南 砺 市
地域包括医療・ケア局

マイスター養成講座 第5期開講

平成25年6月28日（金）から8月30日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市役所 福野庁舎2階講堂で開催されました。第5期目となる今回は、南砺市連合婦人会らの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計45名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を“自分ごと”してとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
教授 山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	6月28日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	7月12日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域再生の取り組み例1 石川県能美市の取り組み	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	7月26日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域再生の取り組み例2	九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター 准教授 小林 俊哉 先生
第4回	8月9日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域再生の取り組み例3	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生
第5回	8月30日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域再生の取り組み例と四画面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、「4画面思考で未来を創る～自己開発法：喜びの創造と連鎖～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいたい姿への自分を描く「四画面思考」の作成について述べられました。

第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美！ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいたい姿や具体的な実践手法について説明されました。



芳珠記念病院 仲井 培雄 先生



九州大学 小林 俊哉 先生

第3回では、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センターの小林俊哉先生から北陸先端科学技術大学院大学での地域活性化の取り組みを紹介され、また、四画面思考法の作成方法について実例を交え、詳しく説明をいただきました。

第4回では、本講座のコーディネーターでもある、山城清二先生から「南砺市での地域医療再生の取り組み」と題し、これまでの南砺市での取り組みや今後の地域包括ケアシステムの方向性について実例を交えての講義をいただきました。



富山大学附属病院 山城 清二 先生

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



最初は不安と緊張の様子だった受講生の皆さんも



グループワークを通じ、職種を超えて意見交換をされていました



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたいたい姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言

クライアントの持続的な発展を支援する会計事務所
元気に生涯現役で過ごす
「ひとりぼっちのいないまちづくり」をめざして
生活習慣病予防をおして、健康寿命の延伸に貢献する
目標は壮大に！着実に一歩を積み重ねる！
患者・家族そして医療スタッフが笑顔でいられる温かい病院
笑顔で与え、支え合う南砺市
医療・介護が必要になっても安心して暮らせる日本をつくる
地域社会の中での元気な生き方
南砺市地域福祉活動計画～ひとりぼっちのいないまちづくり～の計画に近づく
南砺市の健康寿命の延伸
かみいちで他職種協働にむけて～学生・研修医参画型研修
患者家族が安心して在宅復帰できる回復期リハビリ病棟
「俯瞰力」を身につけます
安心して暮らせるまちづくり～情報・サービスをより身近なものに～
地域を活性化したい！
地域の人に認知症の理解を！
高齢者と若者の「有縁」社会にしよう
笑顔で子育てできる地域をつくる
10年後に一番喜んでくれるのは私だ！！
高齢者もその家族もポジティブな生活を送ることが出来る南砺市
南砺中央病院薬剤科全員で貢献しよう！
選ばれる病院になる
点を線に内から外へのネットワークづくり～まずは職場から～
利用者の「来たい」と家族の「期待」に応えるデイサービス
生涯、介護支援専門員を続ける
地域全体で子供を育てられる
困った時にばつと浮かぶ存在へ
家族が安心して入院できる病院をめざして
リハビリと共に元気に！！
地域で楽しく 近所仲良く！！
認知症の方、職員共に明るく楽しく元気な施設になる
必要な人が必要な介護サービスを利用できる地域作り
1人1人の人生に寄り添える病院
一人前になること
病院内から地域になじんだ看護師の発信！
専門理学療法士を取得し選ばれるPT集団に！
仕事を通じて地域の人のとふれあい
利用者の体に合った車椅子を提供する
みんなが笑顔＊毎日をきらりと幸せに
笑顔で安心、潤いのある生活環境
医療・行政・地域が連携できる高齢者支援ネットワーク作り
「私もあなたもパワーアップできる南砺市」
院内新聞の成功！

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域再生にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



他の受講生の成功の宣言に熱心に耳を傾ける受講生

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、老後も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に工藤地域包括医療・ケア局管理者より養成講座の課程を修了した44名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第5期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。



工藤地域包括医療・ケア局管理者から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。



ほっと あつと なんと

南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成26年度
南 砺 市
地域包括医療・ケア局

マイスター養成講座 第6期開講

平成26年10月3日（金）から11月28日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市役所福野庁舎2階講堂で開催されました。第6期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会らの地域住民の方々のほか、看護師、保健師、福祉施設職員など計58名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を“自分ごと”してとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
教授 山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	10月3日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月17日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域医療の取り組み例 石川県能美市の取り組み	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	10月30日（木） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域活性化の取り組み例	福井県高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生
第4回	11月14日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域活性化の取り組み例	独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員 堀田 聡子 先生
第5回	11月28日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域活性化の取り組み例と四画面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、「四画面思考法の基本～自己開発法：思いを表現し未来を創る～」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。

自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたてたい姿への自分を描く「四画面思考」の作成について述べられました。

第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美！ヘルスケアコミュニティの創造」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたてたい姿や具体的な実践手法について説明されました。



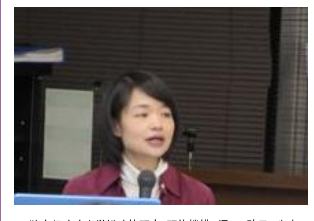
芳珠記念病院 仲井 培雄 先生



高浜町和田診療所 井階 友貴 先生

第3回では、福井県高浜町和田診療所の井階友貴先生より「みんなで作りなあれ、医療と地域～医師から見た地域医療住民活動～」と題し、高浜町で行っている大学との連携、そして、地域住民らによる地域医療サポーターと連携した取組みについて説明されました。

第4回では、独立行政法人労働政策研究・研修機構の堀田聡子先生より「ここから始まる！地域包括ケアのまちづくりに向けて」と題し、地域包括ケアが求められている背景やあり方、また国内外の事例を交えての講義をいただきました。



独立行政法人労働政策研究・研修機構 堀田 聡子 先生

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



最初は不安と緊張の様子だった受講生の皆さんも



グループワークを通じ、職種を超えて意見交換をされていました



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

多職種の方でグループを構成し、直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたてたい姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言
 地区の味を収集し、互いの心を深め合う
 居心地の良い家作り
 住み慣れた地域で日々好日 後期高齢者から終末期まで
 地域に広げたい、栄養サポートの輪(〇)
 元気で長生きすることのできる町づくりに貢献する
 総合力を身につけて人間力を活かす
 野菜作りを楽しむ、おいしく食べること
 「みんなの口」のすすめ「ねんころ」にならないために！
 介護が必要になっても安心して最後まで自宅で暮らせる地域
 その人らしい人生が送れる 南砺市へ
 赤い羽根であったかいままっつり
 健康寿命の延伸に貢献する
 ノーマライゼーションな地区社会をつくる
 誰もが安心して住めるまちをつくる「ひとりぼっちのいないまちづくり」
 自分も地域の人々も生き生きと一在宅ケアの手伝いを通して一
 自宅療養ができると感じる南砺市
 子育てしながら地域でやりがいを持って働き続ける
 まこと笑顔で いまいき生活をつくる
 気ままな カフェテラス
 障害者と支援者をする人達の交流の「場」をつくる
 みんなが安心して暮らせる、繋がりのある地域づくり
 いつまでも自分らしい健康づくり
 介護のプロフェッショナルを目指して
 地域ぐるみの知恵と工夫で健康寿命をのばす！
 支えたい！誰もが普通に生活を送るために
 心身ともに健康な地域づくり
 デイケアを利用される方々の居場所づくりに関わる
 患者・家族が安心して療養生活を送ることが出来る病院を目指して
 地域皆さんが共に元気で笑顔！
 五箇山でみんなつながりながら暮らししていく
 ひとりぼっちのいないまちづくりをめざして
 本音と現状と向き合える地域の発信者になる
 利用者が明るく生き生きとして過ごせる生活空間
 住んで良かった 住みたい地域へ
 その人らしく満足できる施設づくり
 その人らしい生活が送れるケアを提供
 孤立する人がいない街をつくる
 「嚙下評論師の人」から脱却！「食べたい」を支える
 ！！幸福度NO.1の人母モデルを創る！！
 住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくり
 前向きに生きる！
 在宅介護を支える地域づくり
 未来に自覚できる南砺市・地域づくり 一常に一瞬が強く深く一
 生涯現役エンジニア、「アシ」があって良かった」を開発する。
 笑顔あふれるまちを！食を通してこころやかな心と身体を育てよう
 笑顔の機会をより多く(QOLの向上を目指して)
 南砺市少子化対策に貢献する
 リハビリを学べる病院に
 南砺市民病院職員の一員として活躍！
 「呼吸療法認定士の資格を訪問業務に発揮できる」

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域活性化にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



他の受講生の成功の宣言に熱心に耳を傾ける受講生

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、老後も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に田中南砺市長より養成講座の課程を修了した50名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第6期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していかれる事が期待されます。



田中南砺市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。





南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成27年度
南 砺 市
地域包括医療・ケア局

マイスター養成講座 第7期開講

平成27年9月18日（金）から11月20日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市役所福野庁舎2階講堂（第3回のみ南砺市井波総合文化センター）で開催されました。第7期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会からの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計51名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、限られた医療資源を有効に活用することを考え、自ら行う健康活動等の構築を目指し、また、地域包括医療・ケアを地域全体で取り組むことを目指し取り組んでいるものです。



コーディネーター

富山大学附属病院 総合診療部
教授 山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月18日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生
		【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法の基本	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月9日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域活性化の取り組み例	南砺市政策参与 南 眞司 先生
第3回	10月23日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域活性化の取り組み例	福井県高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生 たかはま地域医療サポーターの会 代表 今井 宗雄 氏
第4回	11月6日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域医療の取り組み例	芳珠記念病院 理事長 仲井 増雄 先生
第5回	11月20日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域活性化の取り組み例と四画面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生より「自分ごとで喜んで働く＝成功の宣言文」と題し、講義をいただきました。自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいた姿への自分を描く「四画面思考」の作成方法について述べられました。

第2回では、前南砺市民病院長であり、現在、南砺市政策参与である南眞司先生より、「地域包括ケアシステム構築に向けて」と題して、南砺市の医療・介護の現状や、社会貢献された高齢者を不幸にせず、支える家族も犠牲にしないこと、また現在行っている南砺市の取り組みについての説明をされました。



南砺市政策参与 南 眞司 先生



高浜町国保和田診療所 井階 友貴 先生

第3回では、福井県高浜町国保和田診療所の井階友貴先生より「みんなで作りなあれ、医療と地域～医師から見た地域医療住民活動～」と題し、高浜町の地域住民が発足した「たかはま地域医療サポーターの会」の活動を中心に高浜町での取り組みを紹介され、協働のまちづくりについての説明をされました。

第4回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井増雄先生より「のびのび能美！ヘルスケアコミュニティの創造」と題し、地域包括ケアシステムの解説や四画面思考を活用した病院MOT改革の説明をいただき、四画面思考法の実践手法について説明をされました。



芳珠記念病院 仲井 増雄 先生

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



最初は不安と緊張の面持ちだった受講生の皆さんも



グループワークを通じ、次第に打ち解けあい意見交換をされていた



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

多職種・同地域の方でグループを構成し、地域で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて意見が交わされました。そして自分のなりたい姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

- 成功の宣言
- 心身ともに健康で元氣な毎日を送る
- サロン活動からの安全、安心な町作り
- 地域の人が集まっていることを身近に感じて生活したい
- 健康な高齢者による要介護の軽減
- 地域の人のつながりや環境の整備
- 地域住民に信頼・必要とされる病院へ
- みんな笑顔、支え合いのまち「なんと」
- 障害者や高齢者による要介護の軽減
- 高齢者が生きがいをもって活動する地域を求めて
- 少子化ストップ！移住もいけど、開国も...
- 私の笑顔は家族の笑顔 家族の笑顔は地域の笑顔
- 笑顔の連鎖の創り出し
- 元氣な地域づくり
- 元氣な地域に安心した医療を
- たまたま病院、なんと！ほとんど在宅生活
- 笑顔の連鎖で仕事にやりがい
- （シルバー世代）元氣でいたい、支え合う地域づくり
- 働き盛りがなくなったと思えるみんなと自分
- 魅力的な婦人会組織づくり
- 地域に誇れる生活支援体制づくり
- 南砺市役所や地域に暮らす家庭医療専門医を育てる
- みんなが集い、活気ある地域活動
- わかりやすい、相談しやすい、窓口にする
- 仲間と共に歩む多職種連携体制
- 南砺市役所が主役！命の輝きイノベーション
- 任意一人一人が先生である
- 利用者様に元氣な老後を送っていただきたい
- 住み慣れた場所で安心な暮らしを送られる地域に
- 地域で生き生きとした生活を継続するために
- 自宅で「美足な暮らし」を送るまちづくり
- 安心して子育てできる環境づくりへの貢献
- Good Cycle with Smile Circle
- 笑顔が伝えないと「ホームステイ」
- 人間力を向上し、日々元氣に生活する
- 南砺市、福野地域、地元のものごとを知ろう！
- 笑顔・安心・笑顔 ～EKED1～
- 患者、家族が積極的に関わり合いに参加する病院へ
- 健康宣言（健康宣言）が実現し生活できる南砺市に
- すこし強張り、楽しい生活を送りたい
- 笑顔の連鎖の能力を学ぶに足る、10年後の笑顔を支えるNiiを育てたい
- 笑顔あふれる介護施設へ
- 南砺市役所が主役！命の輝きイノベーション！
- 信頼される病院へ～リハビリテーション～
- 素敵な訪問介護員を増やす！
- 地域のつながり「方エゴ」
- 健康宣言が実現し生活できることを目指す
- 共に楽しむ
- もっと驚かされる住民ボランティアをめざして！
- 地域住民に信頼される親しまれる病院
- 健康宣言が実現し生活できる

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域活性にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



他の受講生の成功の宣言に熱心に耳を傾ける受講生

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、高齢者・障害者も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に工藤副市長より養成講座の課程を修了した50名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第7期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していかれる事が期待されます。



工藤副市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。



ほっと あつと なんと

南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成28年度
南 砺 市
地域包括医療ケア部

マイスター養成講座 第8期開講

平成28年9月16日（金）から11月11日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市役所福野庁舎2階講堂で開催されました。第8期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会らの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計48名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、地域医療の課題の発見や地域活性化の検討を行い、人的なネットワークづくりに取り組むとともに、地域包括ケアを地域全体で取り組むことを目指し取り組んでいるものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
教授 山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月16日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生
		【各論1】 ○自己開発法、四画面思考法の基本	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	9月30日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域活性化の取り組み例	国際医療福祉大学大学院 教授 堀田 聡子 先生
第3回	10月14日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	南砺市政策参与 南 眞司 先生
第4回	10月28日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	福井県高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生 たかはま地域医療サポーターの会 中島 大輔 氏
第5回	11月11日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域活性化の取り組み例と四画面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生より「自分ごとで喜んで働く一成功の宣言」と題し、講義をいただきました。今年度は、成功の宣言を詩で表し声に出して唱和することで長期記憶が可能となる新たな手法を取り入れ、自分のなりた姿を見える化する「四画面思考」の作成方法について述べられました。

第2回では、国際医療福祉大学大学院教授の堀田聡子先生より「地域包括ケアのまちづくり」と題し、地域包括ケアをめぐる世界的な流れについて解説いただきました。地域包括ケアを端的に表現すると、地域まるごと支えあいの仕組みの言葉が印象的でした。



国際医療福祉大学大学院 堀田 聡子 先生



南砺市政策参与 南 眞司 先生

第3回では、南砺市政策参与であり地域包括ケア課の顧問でもある南眞司先生より「南砺市の地域活性化への取組み」と題し、南砺市の取組みの紹介および地域住民の意識や行動を改革することの大切さなどを説明されました。世話になることを「迷惑を掛ける」から「お世話になる」の作法へ。

第4回では、高浜町国保和田診療所の井階友貴先生より「地域に生きるためにできること」と題し、地域医療を守るための行動や地域住民が危機感をもって自主的に立ち上がったサポーターの会の取組みについて、ユーモアを交えた話で説明をされました。



高浜町国保和田診療所 井階 友貴 先生

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



第1回目は市長も激励に駆けつけられました

多職種・同地域の方でグループを構成し、地域で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて意見が交わされました。そして自分のなりた姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言

会話から 地域のつながり 強めよう
職員一人ひとりが活躍できるパワー全開社協
人を守る
南砺の元気を、まず自分から！！
笑顔ある 気付毎日 共に生き はしる喜び 健康也
人の輪・地域の輪づくり
訪問リハビリを知ってもらい、地域で活躍する！！
やりがい、生きがい、生活の質の向上を目指して
患者に頼られる臨床検査技師！！
患者・家族のよりどころはリハビリテーション室！
幸せをつかむ
ほ～！問看護ステーションになる
男が女性を介護
仕事が楽しい！と思える職場づくり
みんなで楽しく農作業でつながる地域づくり
ロコモマイスターの育成を！
自他ともに ありのままを受け入れ 生きる
鳥の目を持ったMSMになる
南砺市だから大丈夫！ 在宅緩和ケア
「食べる楽しみ」で健康長寿に一役かいます
おもたしいは地域の元気処方箋
一人暮らしの住民が死を迎えるに地域住民で出来ること
健康は笑顔あふれる第一歩
大好きな 城端に住み 笑顔あり 富山型だよ バリアフリー
自分が変われば、周りは変わる！今日から笑顔でプラス思考！
にっこり 笑顔が見えれば、連鎖して わたしも嬉しい あなたも嬉しい
ペピーカーからシルバークーまで共に支えるなんとシティー
今、私が輝くと！
地域交流の盛んな開かれた施設作り
幸老人マイスターになる
ときどき ランチ(五箇山では)
地域で一番の苗科にする！！
心身ともに健康な地域づくり
笑顔で安心してその人らしく療養生活が送れる
健康美で素敵な笑顔になる
一年目、笑顔と元気で 突っ走り
患者様と医療職員が過ごしやすい病院



グループワークを通じ、人材のネットワークづくり



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域活性化にむけて～



受講者が各自の『成功の宣言』を発表



過去の修了生も応援に駆けつけられました

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、地域のコミュニケーション強化など、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表しました。そして最後に工藤副市長より養成講座の課程を修了した39名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第8期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していかれる事が期待されます。



工藤副市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました



ほっと あつと なんと

南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成29年度
南 砺 市
地域包括医療ケア部

マイスター養成講座 第9期開講

平成29年9月1日（金）から11月24日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市地域包括ケアセンター2階多目的研修室で開催されました。第9期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会らの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計44名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部教授の山城清二先生がコーディネーターとなり、地域医療の課題の発見や地域活性化の検討を行い、人的なネットワークづくりに取り組むとともに、地域包括ケアを地域全体で取り組むことを目指し取り組んでいるものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月1日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授 堀田 聡子 先生
第2回	9月15日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○自己開発法、四画面思考法の基本	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第3回	10月6日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	南砺市地域包括ケア課 顧問 南 眞司 先生
第4回	10月20日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	福井県高浜町和田診療所 井階 友貴 先生 たかはま地域医療サポーターの会 中島 大輔 氏
第5回	11月24日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域活性化の取り組み例と四画面思考を学ぶ



慶應義塾大学大学院 堀田 聡子 先生

第1回では、慶應義塾大学大学院教授の堀田聡子先生より「地域包括ケアから地域共生社会へ」と題し、地域包括ケアを取り巻く変化から、地域共生社会の実現に向けた過程について解説をいただきました。また、地域の取り組みとして、小規模多機能自治の紹介もされ、地域包括ケアの取り組みは、地域づくりであると再認識する講義でした。

第2回では、北陸先端科学技術大学院大学客員教授の近藤修司先生より「自分ごとで喜んで働くー成功の宣言ー」と題し、講義をいただきました。この講義は、本講座の核とも言える「四画面思考」を学ぶ講義であり、受講者は初めて学ぶ四画面思考に驚きと戸惑いを覚えながら、徐々に理解を深めていきました。



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生



地域包括ケア課 顧問 南 眞司 先生

第3回では、南砺市政策参与であり地域包括ケア課の顧問でもある南眞司先生より「長命社会を、住み慣れた地域で共に生きる長寿社会へ」と題し、南砺市の地域医療の現状と課題を踏まえた上で、目指すべき社会として、「南砺市が長寿社会になる」と宣言され、長生きの社会（長命社会）を、幸せな社会（長寿社会）へするための取り組みについて講義されました。

第4回では、高浜町国保和田診療所の井階友貴先生より「地域に生きるためにできること」と題し、地域医療を守るための行動や地域住民が危機感をもって自主的に立ち上がったサポーターの会の取り組みについて、ユーモアを交えた話で説明をされ、今後、目指す方向としてソーシャル・キャピタル（社会関係資本）について解説されました。



高浜町国保和田診療所 井階 友貴 先生

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



第1回目は副市長も激励に駆けつけられました



グループワークを通じ、課題解決の糸口も見えてきます



講師の先生からも積極的にアドバイスをいただきました

多職種・同地域の方でグループを構成し、地域で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて意見が交わされました。そして自分のなりたい姿や実践したい事を四画面思考『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言
安全、安心で活力ある地域を目指して
高齢化率59.2%の町で共に生きるために
通所型サービスB(住民主体による支援)の展開を図る(南山田地域)
デイサービス職員として極めたい
本を通して笑顔になれる書店作り
みんなが繋がっている地域をつくる
笑顔あふれる南砺のために、ポジティブ思考で日々成長
老後も発信 在宅ケアのカナ
近所の人を理解
自分の健康を維持、心豊かな生活を
特養を街の広場に
元氣と笑顔で介護と踊りを続け心豊かに!
安心して受けられる内視鏡検査を目指して
残業が減りスタッフみんなが笑顔で働ける
その人の状況や思いを受け止めサポートできるケアマネ
地域高齢者サロン支援スタッフの増員
元氣な町をつくらう
人(人材)を育てられる人になる
面接で語った夢を実現するために!!
人を笑顔に、地域を元氣に幸せに!
元氣で楽しく住み続けられる地域づくり
一人ひとりを笑顔に
地域に必要とされる組織になる
ありがとうで繋がる地域の輪
中身の詰まった人間になる
地域のいきいき仲間集
理学療法分野の発展によって、日本の健康寿命向上など世の中に役立つ存在となる
元氣で活動的な高齢者が沢山いる地域にならう
家族の笑顔のために
笑いあい笑顔と元氣 地域の輪!!
専門事業のそれぞれの力を活かして地域の利用者の笑顔と生活を支えたい
コミュニケーション力で支えあう地域になる
スマホカメラを持って楽しく健康にならう
社会保障費削減に向けて大海の一滴
あたりを明るく演じて 繋がり作る
自信を持っていきいきと仕事を
もっと地域にぐっと在宅看護
生活の中に笑顔をもてる人に
健康寿命の延長!
砺波広域圏で生活に困っている人を助けます!
医学教育で南砺市を元氣にしたい!

『ありたい姿』と『これから実践すること』～地域活性化にむけて～



今年度も受講者の想いの詰まった四画面が完成しました

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、地域のコミュニケーション強化など、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表しました。そして最後に田中市長より養成講座の課程を修了した41名の修了生へ修了証書が授与されました。

この講座を卒業した第9期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。



田中市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました





南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成30年度
南 砺 市
地域包括医療ケア部

マイスター養成講座 第10期開講

平成30年9月21日（金）から11月9日（金）にかけて全5回、「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市地域包括ケアセンター2階多目的研修室で開催されました。第10期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会らの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計42名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院総合診療部教授の山城清二先生がコーディネーターとなり、地域医療の課題の発見や地域活性化の検討を行い、人的なネットワークづくりに取り組むとともに、地域包括ケアを地域全体で取り組むことを目指し開講しているものです。

コーディネーター



富山大学附属病院 総合診療部
山城 清二 先生

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	9月21日（金） 18:30～21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生
		【各論1】 ○四画面思考法の基本	北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師 近藤 修司 先生
第2回	9月28日（金） 18:30～21:00	【各論2】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授 堀田 聡子 先生
第3回	10月12日（金） 18:30～21:00	【各論3】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	南砺市地域包括ケア課 顧問 南 真司 先生
第4回	10月26日（金） 18:30～21:00	【各論4】 ○地域医療・地域活性化の取り組み例	福井県高浜町和田診療所 井階 友貴 先生 たかはま地域医療サポーターの会 中島 大輔 氏
第5回	11月9日（金） 18:30～21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

地域活性化の取り組み例と四画面思考法を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、北陸先端科学技術大学院大学非常勤講師の近藤修司先生より「自分ごとで喜んで働く：元気で楽しく美しく」と題し、講義をいただきました。この講義は、本講座の核とも言える「四画面思考法」を学ぶ講義であり、受講者は、初めて学ぶ四画面思考法に不安を抱きながらも今後の講座に向けて、理解を深めていきました。



慶應義塾大学大学院 堀田 聡子 先生

第2回では、慶應義塾大学大学院教授の堀田聡子先生より「地域包括ケアシステムから地域共生社会へ」と題し、地域包括ケアを取り巻く変化から、地域共生社会の実現に向けた過程について講義をいただきました。また、地域共生に向けた全国の先進事例も紹介され、南砺市の目指す地域づくりの方向性を再認識する講義でした。



地域包括ケア課 顧問 南 真司 先生

第3回では、南砺市政策参与であり地域包括ケア課の顧問でもある南真司先生より「愛着があり誇りに思えるまち（故郷）づくり」と題し、南砺市の現状と課題を踏まえた上で、実践する姿としてどう対応し、今後、南砺市の目指す地域共生社会の実現に向けて取り組んでいる小規模多機能自治等について講義をいただきました。



高浜町国保和田診療所 井階 友貴 先生

第4回では、高浜町国保和田診療所の井階友貴先生より「地域に生きるためにできること」と題し、地域医療を守るための行動や地域住民が危機感をもって自主的に立ち上がったサポーターの会の取り組みについて、ユーモアを交えて説明をされ、健康寿命を10年、地域寿命を100年延ばす健康まちづくりについて講義をいただきました。

グループワーク ～課題解決に向けて前向きな意見を交換～



第1回目は市長も激励に駆けつけられました



グループワークを通じ、多職種の連携が図られます



講師の先生からのアドバイスで課題解決に光が見えます

多職種・同地域の方でグループを構成し、地域で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて意見が交わされました。今後、自分になりたい姿や実践したい事を四画面思考法の『成功の宣言』として掲げました。

成功の宣言

プラス思考の言動で、周囲にスマイルを
 恋せよ！オト・コ！胸がキュンキュン脱メタボcity！
 魅力がある人間になる
 チーム力アップで支えられ 支えあう やさしいまちづくり
 スポーツを通じて健康的に日常生活を充実させよう（健康的な地域創り）
 不協和音で既成概念を壊せ！
 明るく元気な地域づくり
 地域を守り、発展させる若者を育てる（増やす）
 物事の本質を知り、関心を持つことから～過去の自分の目的意識の中から～
 住みやすい地域づくりの為に小規模多機能自治推進
 利用者に合ったサービスや話題の提供
 じっくりと初期研修は2年間
 専門職員の事務負担の軽減
 毎日笑顔、毎日元気！
 楽しいデイサービスを作る
 健康を維持し、いつまでも元気に
 利用者様の笑顔を引き出す
 皆で仲良く福蜜柿を作る
 前年同様を改める
 地域に彩りを与え、心豊かに生活できるお手伝いを
 地域住民から必要とされる社協職員になる
 過疎の地域で元気に暮らす
 日本と中国の架け橋になる！
 地域・世代をつなげていきたい！
 地域の「たまり場」づくり
 住み慣れた町でいきいきと暮らす
 365日の紙ひこうき
 コミュニケーションをとり利用者も職員も笑顔で元気に！！
 やりがいを持ち、元気になるデイサービスに
 地域に愛されるデイサービスへ！
 訪問リハビリを通して「繋がり」作り
 誰もが「自分として生きる」
 ひと・まのかがやきサポートするOT（作業療法士）
 山本くん、僕はね、南砺市民病院を全盛期の「舞鶴市民病院」のような病院にしたいんだよ！
 その人らしい最期を迎えることができる地域に
 安心して自宅へ帰るためのお手伝い
 臨機応変に対応できる放射線技師
 デイケア利用者と家族（自分の家族含む）のあったかサポーターになる！！

『ありがたい姿』と『これから実践すること』～地域活性化にむけて～



今年度も受講者の想いの詰まった四画面が完成しました

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四画面思考法』をもとに、それぞれの業務での目標や、地域のコミュニケーション強化など、各自が描くありがたい姿やこれから実践したい事を発表しました。発表後には、工藤副市長より養成講座の課程を修了した38名の受講者へ修了証書が授与されました。

この講座を修了した第10期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していただく事が期待されます。



工藤副市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました